

1

- 1 (1) 本初子午線 (2) 南アメリカ大陸 (3) ア (4) ヒスパニック  
 (5) 暖流の北大西洋海流とその上空を吹く偏西風の影響を受けるため。
- 2 (1) 扇状地 (2) イ (3) 択捉島  
 (4) 鉄鋼の製造に利用する鉄鉱石や石炭を輸入するのに便利だから。 (5) エ

## 解説

1 (3) カード I はイスラム教の聖地であるメッカを指している A。

カード II はシベリアの都市部を指している C。

(5) パリの西側を赤道からの暖流が北上し、その上空を吹く偏西風が海流にあたためられた空気を運んでくるため、西ヨーロッパは高緯度にもかかわらず暖かい。

2 (1) X 県は山梨県。扇状地は水はけがよいため、古くから果樹園などに利用されている。

(2) アは米の産出額が大きいので新潟県。イは畜産の産出額が大きいので鹿児島県。

ウは面積が最も小さい香川県。エはレタスの抑制栽培やブドウの生産が盛んな長野県。

(3) 日本最北端の島。

(4) 鉄鋼の製造に必要な鉄鉱石と石炭の自給率が低いことから、輸入に頼っていることがわかる。

沿岸部は原料の船での輸入に便利なので、製鉄所が多く分布している。

(5) ア：等高線の間隔が狭い→傾斜が急、等高線の間隔が広い→傾斜が緩やか。

イ：2万5千分の1の地形図で4cmなので、 $25000 \times 4 = 100000(\text{cm}) = 1000(\text{m}) = 1(\text{km})$

ウ：函館山の山頂から見て地点 E は左上にあるので、北西の方向。何も記載がなければ上が北。

エ：函館山の山頂の標高は334m、地点 E は50mと100mの等高線から約80mと読み取れるので、標高差は約250m。

2

- (1) イ (2) 紫式部 (3) ①.イ ②. 分割相続によって領地が小さくなった  
 (4) 分国法 (5) エ→ウ→イ→ア (6) ウ  
 (7) 問1.大政奉還 問2.大きな負担を負ったが、賠償金<sup>ばいしょうきん</sup>を得ることができなかった 問3.イ

## 解説

(1) アは平安時代後期に建てられた平等院鳳凰堂、イは正倉院におさめられている琵琶（天平文化）、ウは東大寺南大門の金剛力士像（鎌倉時代）、エは古墳時代に古墳のまわりに置かれた埴輪。

(3) ① チンギス・ハンは13世紀初めにモンゴル民族を統一し、モンゴル帝国を築いた人物。

北条泰時は、1232年に御成敗式目を制定した人物。

② 当時は兄弟で親の財産(土地)を分けて相続する分割相続が行われていた。戦いがなくなって領地の増加がない状況で、何代か分割相続を繰り返すと領地が小さくなってしまい、収入が減少し生活が苦しくなっていった。

(5) アは1641年、イは1637年（島原・天草一揆）、ウは1635年、エは1612年。

- (6) 外国で金 1 枚を銀に変えると銀 15 枚になるが、この銀 15 枚を日本で金に変えると、 $15 \div 5 = 3$  で、金 3 枚になり、日本の金が国外に多く持ち出された。
- (7) 問 2.日露戦争の講和条約をポーツマス条約、東京で起きた事件を日比谷焼き討ち事件という。  
問 3. Y の日英同盟は、1921～22 年に開かれたワシントン会議で解消された。

3

- (1) 世界人権宣言 (2) 衆議院は、参議院に比べ任期が短く解散もあるため、国民の意見をより反映していると考えられているから。 (3) イ (4) 公正取引委員会 (5) ウ  
(6) エ (7) ウ

解説

- (1) 1966 年には条約のかたちで拘束することができる国際人権規約が採択された。
- (2) 任期は、衆議院 4 年・参議院 6 年、解散は、衆議院あり・参議院なし。これらのことにより、衆議院の方が、より選挙による国民の意思を問う機会が多く、意見が反映されやすいと考える。
- (3) Y：裁判員もどのような刑罰を科すかの判断に参加する。
- (5) ア：企業が、株式や債券を発行することで出資者から資金を借りることを直接金融という。  
イ：企業は、利潤を得ることを目的としている法人企業などの私企業と、国や地方公共団体などが運営し利潤を得ることを目的としない公企業に分類される。  
エ：資本金や従業員数などによって企業は大企業と中小企業に分けられ、日本の製造業に占める企業数は 98.4%、従業員数は 66.7%、出荷額では 48.1%を中小企業が占めている。
- (6) 価格は下がり、需要曲線と供給曲線の交点のときの価格（均衡価格）で落ち着くことになる。
- (7) 好景気のときは、公共投資を減らして民間企業の仕事を減らしたり、増税をして消費を減少させたりすることで、景気の過熱をおさえようとする。

4

- (1) ウ→ア→イ→エ (2) フェアトレード (3) ア (4) イ

解説

- (1) アは 1951 年、イは 1956 年、ウは 1946 年、エは 1973 年。
- (3) 1 ドルの交換に必要なお金が 142 円から 156 円になって、円の価値が下がった円安となる。  
円安になればドル価格が安くなるので輸出が増加する傾向にある。  
円安→輸出増、輸入減 円高→輸出減、輸入増
- (4) 社会保障と財政の関係は、社会保障を充実させるかわりに、税金などの国民の負担を大きくする高福祉高負担(大きな政府)(図のイ)と、社会保障をしぼりこむ代わりに国民の負担を軽くする低福祉低負担(小さな政府)(図のウ)という 2 つがある。